

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	○○○○×××事業
資金分配団体名:	特定非営利活動法人○○○団体
実行団体名:	特定非営利活動法人○○○団体
実施時期:	2020年 月～2021年 月
事業対象地域:	○○県
事業対象者:	○○○○

Version 3.2

日付:

20xx年xx月xx日

I. 事業概要

事業実施概要	
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	
考察等	

V. 活動

活動	進捗	概要

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

事業費	計画額	実績額	執行率
	直接事業費		#DIV/0!
	管理的経費		#DIV/0!
合計		0	0 #DIV/0!

補足説明	
------	--

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。		
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。		
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。		
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。		
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。		
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。		
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。		

5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。				
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/>	外部監査		
	<input type="checkbox"/>	内部監査		
	<input type="checkbox"/>	実施予定はない		
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。				
8.内部通報制度は整備されていますか。				
【非公開】9. 上記設問8で「はい」の場合、利用はありましたか。				
【非公開】10.報告対象となる不正行為を資金分配団体に報告済ですか。				
【非公開】11.代表者変更・役員変更・住所変更等があった場合に通知書の提出を行っていますか。				

XII. その他

自由記述

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	○○○○×××事業
資金分配団体名:	特定非営利活動法人○○○団体
実行団体名:	特定非営利活動法人○○○団体
実施時期:	2020年 月～2021年 月
事業対象地域:	○○県
事業対象者:	○○○○

Version 3.0

日付: 20xx年xx月xx日

I. 事業概要

事業実施概要	新型コロナの影響により派遣や日雇いの仕事量が減少した。それに伴い収入が無くなり居所を失った方々へ、一時避難場所としてシェルターを提供する。食堂での食事提供や食料パックによる食糧提供を実施する。所持品をもたない場合も想定し、衛生用品（歯ブラシ、洗剤等）なども提供する予定。シェルター入居後は、就労体験への参加やハローワークでの就職活動をサポートし、生活再建に向けた支援を行う。また、個別の生活課題についての支援プランを立案するなど、総合的な生活相談を実施し、受益者が生活の基盤となる居所を得られるようにする。
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	ニーズについては新型コロナの影響の長期化、2度の緊急事態宣言に伴い、想定以上となった。シェルターにて当初設定数のXXに対し、X倍以上の相談があり、下期においては運用体制の変更および計画の変更により、増床を行なう対応をした。結果、当初予定数以上の受け入れは実現できた。一方で、XX地域の経済環境の悪化、現在の状況に対する当事者の意欲低下等が重なり、就業支援については、状況を鑑み、サポートの中心をオンライン化したこと、当初の予定の体験参加・サポートのみでは、立ち上がりが十分に行かない状況であった。本就業支援においては、研修に加え、その後、受講者の状態を把握、連絡を保ちながらフォローアップが必要であることが事業の実施の中で確認されたが、これは当初の事業設計内になく、事後の対応する形となった。領域全体においては就業名員の不足が見られるなど、就労先としてアプローチできる先はXXにもまだ多く存在することが確認された。次のアクションとして、これらのパイプ・情報を持つ団体との連携等の仕掛けが必要と認識した。
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
生活困窮者	その他	新型コロナの影響により住まいを失った方が居場所を得る	確保する居室数と、入室者数	- シェルターが利用された日数 XXX日 - シェルター利用者数 延べXX名	利用日数 XXX日 シェルター利用者数 延べXX名	（※課題・注記なし）アクションへが記載される中で、想定を超えての受け入れを実施することができ、一時避難先としての成果を果たすことができた。一方で、一名あたりの利用日数は想定より多く、他の支援との組み合わせにより多くの成果が得られたのではないか。
生活困窮者	食料関連の不足	新型コロナの影響により収入が減り食費が確保できなくなっていたが、食糧が確保できるようになる	食料パックを渡す回数	食糧支援 延べXXX回 約XX回×Xヶ月	食糧支援 延べXXXX回	XXX
中間支援者	その他	支援者団体間でお互いの活動と連絡先を認識し、受益者に対するワンストップでの支援提供ができるようになる下地ができる	協議会への参加団体数	XX団体	XX団体	【①支援団体②連携不足】ネットワークの機会を試験的に実施したことについては、参加者の声からも手ごたえを感じた。次のアクションの設定を検討したい
	

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	事業に直接関係した者相互の協働がさらに図られ、居住支援の仕組みが地域にできる。事業で得た情報やデータをまとめて、関係団体や制度の窓口と共有することで、シェルター事業の意義を関係者が理解し、地域の中で官民あわせて必要な支援体制を構築していく意識が醸成される。
考察等	協働体制の構築の為、継続的な情報の連携の場を設定し、合計X回の活動を期中に行った。そこではアプローチに対するベストプラクティスの共有も行われ、一定の意味があったと感じている。また、その場で、支援対象者情報の共有化の必要性を関係者間で確認した。シームレスな支援において、各団体が保有するデータのみでなく、共通基盤としての支援先データの統合を行うことで、よりスムーズな連携が行えるのではないかと考察する。一方で、難所と感じているのが、包括に向けリードを行うポジションの不在である。自団体も含め、各団体についてはリソースも十分でない状態での実施をしているのが現状である。官の巻き込み等による、リード（リードの指揮を揮いて）

V. 活動

活動	進捗	概要
居所を失った方々へのアトリーチ	ほぼ計画通り	リーチについては、関連団体からの情報提供により実施したが、ニーズの高まりも有、活動に対して想定以上にリーチがなされた。
アパートを借り上げシェルターとして利用	計画通り	想定通り実施。予定数であったXX室の借り上げを行ったほか、ニーズの増加に伴い、急速X室の貸し増しをXX社との連携・協力により実施した。
第一次産業への就労体験の機会を創出	遅延あり	コロナの状況に伴い、就労先として予定していたXX団体の内、X割の実施が困難となり、急遽領域を変更することとなった。具体的には…

2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行ってていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	いいえ	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない	団体の監事による監査を実施し、監査報告書の提出を受けた
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	
【非公開】9.上記設問8で「はい」の場合、利用はありましたか。	利用はなかった	
【非公開】10.報告対象となる不正行為を資金分配団体に報告済ですか。	不正行為はなかった	
【非公開】11.代表者変更・役員変更・住所変更等があった場合に通知書の提出を行っていますか。	変更があり報告済み	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.内部通報制度は整備されていますか。	はい	JANPIAの窓口を利用
3.上記設問2で「はい」の場合、利用はありましたか。	利用はなかった	
4.関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5.事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されましたか。		
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	外部監査	XX監査法人による外部監査をXX月に予定
【非公開】7.代表者変更・役員変更・住所変更等があった場合に通知書の提出を行っていますか。	はい	
【非公開】8.本事業に対して国や地方公共団体から補助金は受領していますか。	いいえ	

XII. その他

自由記述
特になし